



11/6 列島クリーンキャンペーンに参加し、福岡市内のごみ拾い活動を行いました



11/7 ヨガ&グッドライフ福岡（後援：福岡県）



11/14 西区野球連盟のトーナメント大会にて始球式を行いました



11/20 大学生との交流会



11/22 会派「民主県政クラブ県議団」で児童相談所など視察



11/29 「福岡県性暴力対策会議」を傍聴しました

新型コロナウイルス感染症に関するお悩み、支援に関することなどお気軽にお問合せください。

ごとうかおり プロフィール

1979年 大分県日田市生まれ
1998年 大分県立日田高校 卒業
2002年 愛知教育大学 教育学部 卒業
2014年 ふくおか女性いきいき塾 3期生
2018年 女性のための政治スクール 修了
2019年 福岡県議会議員 初当選
南庄在住 夫と子ども3人の5人家族

役職

- ワンヘルス・地方分権調査特別委員会 副委員長
- 県民生活商工委員会 委員
- オイスカ国際活動促進福岡県議員連盟 理事
- 福岡県文化議員連盟 幹事
- ふくおか県民文化祭実行委員
- 福岡県女性議員ネットワーク 副会長
- 西区野球連盟 顧問
- 立憲民主党福岡県連 青年委員長



ポスター・立て看板設置してくれる方、ボランティア募集中

立憲民主党
The Constitutional Democratic Party of Japan

福岡県議会議員（福岡市早良区）

後藤香織 県議会報告



- ごあいさつ、福岡県議会12月定例会報告
- 代表質問、一般会計補正予算
- 子どもたちが安心して過ごせる放課後を！
- 活動報告 等

- ①
- ②
- ③
- ④



▲連絡先はこちらから

後藤香織 県政事務所

〒814-0022 福岡市早良区原3丁目17-38 五十三萬石ビル 2F TEL 092-832-6807 FAX 092-832-6808
E-mail rikken.gotokaori@gmail.com Homepage <https://www.gotokaori.com>

新年に想いを新たに！

新しい年2022年（令和4年）を迎えるにあたりましては、いかがお過ごしでしょうか。

2021年も、新型コロナウイルス感染症が、私たちに様々な制限を与えて、生活を苦しめた1年でした。これからも、第6波に備え、万全の医療提供体制を整え、みなさまの命と暮らしを守ることのないよう、取り組んでまいります。

春を迎えると、私も県議として1期目最後の1年となります。これからも「県民の声を政治に届ける」「県政を身近にする」ため、ひきつづき皆さんに一番身近な議員として頑張ってまいります。

福岡県議会議員
後藤香織

福岡県議会 12月定例会報告

2021年（令和3年）12月定例会は、12月1日開会し、服部知事から3次にわたる補正予算等の議案が提出されました。また、久留米市長選出馬を表明された十中副議長の辞職に伴う副議長選挙が行われ、わが会派の仁戸元氣県議（福岡市西区）が新たに副議長に選出されました。

補正予算の内容は、①新型コロナ感染症の第6波に備え、8月豪雨災害復旧・復興、地域活性化対策など17億5,300万円の増額補正、②人事委員会勧告を受けて期末・勤勉手当を0.15月分引き下げ、29億9,200万円余の減額補正、③国の補正予算を最大限活用した総額868億円余の補正予算（2Pに一部紹介）等が、順次提出されました。

これにより12月定例会の一般会計補正予算は差し引き855億9,100万円余の増額補正となりました。補正予算案を含む提出議案は全て原案の通り可決し、12月20日閉会しました。



「民主県政クラブ県議団」代表質問

1 県政推進の基本姿勢について

- ①次期総合計画、来年度の予算編成及び行政改革大綱について
- ②新型コロナウイルス感染症対策について
- ③コロナ禍で疲弊した地域公共交通機関への支援について
- ④男性に育児休業の取得促進について

代表質問から

第6波にむけた新型コロナウイルス感染症対策

(医療提供体制)

病床 入院者数が第5波の2割増となっても全員を受け入れができるよう、ピーク時に必要な病床数を1,460床と見込み、現在、この数を上回る1,482床を確保しているが、さらなる感染拡大に備え、引き続き増床を図る。

宿泊療養施設 第5波の最大入所者数を上回る最大1,680人が入所できるよう、現在の11施設・計2,234室に加え、新たに1施設を確保することにより、12施設・計2,400室体制をめざす。

自宅療養者 次の感染拡大時には最大8,600人程度と想定し、自宅療養者の外来受診や往診等に対応できる医療機関を1,000機関に拡充した。

自宅療養中 症状が悪化した場合には、平日の日中は保健所で、休日や夜間は福岡県メディカルセンターでこれらの医療機関を紹介することなどにより、自宅療養中の安心・安全の確保に努める。

3回目のワクチン接種について

- 2回目の接種から8か月を経過した18歳以上の方、本県では約360万人が対象。
- 3回目接種では、1・2回目に接種したワクチンの種類にかかわらず、ファイザー社ワクチンとモデルナ社ワクチンのいずれかを接種。

一般会計補正予算(一部抜粋)

■新型コロナ感染防止対策と保健・医療提供体制の強化

- 無料PCR等検査を実施 約77億8,400万円
- 変異株の監視体制を強化 約1億5,300万円
- 「福岡県宿泊施設感染防止対策認証制度」を創設 約5,100万円
- ワクチン3回目接種にむけた個別接種を促進 約41億9,500万円
- 自宅療養者に対する健康観察を強化 約3億1,900万円

■地域経済の活性化と成長・発展、雇用・生活を支援

- 「緊急経済対策支援資金」 約1億4,300万円
→融資枠拡大、保証料全額補填(受付2021年12月末まで)
- 中小企業におけるDX推進人材を育成 約9,100万円
- 県立学校のICT環境を整備 約6,400万円
- 医療・福祉の現場で働く方々の待遇を改善 約77億8,900万円
(2022年2~9月分)→緊急医療機関の看護職員(保健師、助産師、看護師、准看護師)の待遇改善 引上げ額 4千円/月
介護・障がい福祉サービス事業所等の職員の待遇改善 引上げ額 9千円/月

- 2 新県立美術館の整備と文化芸術振興について
- 3 児童相談所の体制整備について
- 4 気候変動に対する本県の施策について
- 5 教職員の労働条件改善について

●国は、両ワクチンを合わせて十分な量を確保しており、来年3月までに本県において使用する177万回分については、既に供給スケジュールが示されている。

新型コロナウイルス感染症の後遺症に関する相談窓口の設置について

今後、後遺症に悩む方を適切な医療につなげられるよう、相談窓口の設置や診察を行う医療機関の選定などについて進めてまいる。

児童相談所について

職員の専門性の向上に図り、一時保護所での子どもの学習支援に取り組む

私立学校の労働基準法遵守について

36協定を締結していないにもかかわらず、時間外労働を行わせることは、労働基準法に違反するが、県内私立小中高等学校97校のうち、教員については20校、事務職員については9校が未締結という状況である。全ての学校で協定が締結されるよう、粘り強く指導を続ける。



- 地域商品券を追加発行 約12億4,700万円
→発行規模132億円、発行期間2022年1月~3月
- 高性能機械・設備導入により生産性を向上 約39億9,000万円
- ひとり親家庭等の女性を支援(子育て女性就職支援センター)
約2,885万円

- 生活福祉資金特例貸付の延長 約47億1,000万円
→【緊急小口資金】貸付上限20万円、無利子
【総合支援資金】貸付上限180万円(60万円×3回)、無利子

■安心・安全の確保

- 災害復旧の効果を高め、災害の再発を防止 約119億500万円
- 緊急輸送道路を整備 約166億4,900万円
- ため池等の安全対策を実施 約50億2,900万円
- 通学路の緊急安全対策を実施 約16億3,900万円

12月定例会で一般質問しました!

子どもたちが安心して過ごせる放課後を!

福岡県警察では、3大重点目標の一つに「性犯罪の根絶」を掲げ、より重点を置いた対策に取り組んでいます。

福岡県内の性犯罪被害の近年の現状をみると、有職者の被害が約4割を占めるものの、次いで小学生以下の被害が多くなっています。また、その被害の時間帯は15~17時台の登下校の時間帯に集中していることから、性犯罪を未然に防ぐ対策について聞き、12月議会の一般質問で県警察に更なる取組強化の要望をしました。

■本県の性犯罪の現状

表1 本県の性犯罪(※)認知件数の推移

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
刑法犯	54,663	46,619	42,126	36,701	34,520
強制性交等	84	56	90	93	88
強制わいせつ	492	379	321	288	233
計	576	435	411	381	321
全国順位	3位	6位	7位	8位	8位

※強制性交等(平成29年刑法改正までは「強姦」)、強制わいせつ

表2 本県の性犯罪(※)被害発生率(人口10万人当たり認知件数)の推移

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
性犯罪被害発生率	11.31	8.54	8.03	7.44	6.26
全国順位	2位	2位	2位	2位	5位

※強制性交等(平成29年刑法改正までは「強姦」)、強制わいせつ

■平成30年 学識別



■令和元年 学識別



「福岡県性暴力対策検討会議」資料

県教育委員会での取り組み

本県独自に「幼児児童生徒の安全確保に関する指針」を作成

2020年度の小学校においては、ほぼ100%実施

- ①防犯教室等の取組
- ②安全マップの作成
- ③保護者や地域ボランティアによる見守り活動の実施
- ④通学路の点検・整備
- ⑤集団登下校の実施

登下校時における防犯対策に関する「地域連携の場」の構築は、全市町村で完了。

福岡県警察での取り組み

・子どもを対象とした犯罪の発生状況等を踏まえた登下校時間帯における警察官による重点的なパトロールや不審者に対する職務質問を積極的に実施し、警戒活動を強化。

・県内すべての中学校と犯罪等の発生状況や不審者情報を共有する体制を確立するとともに、その情報を保護者や防災ボランティア等にもふっかけい安心メール等を活用して配信するなど、子どもの見守り活動等の防犯対策が効果的に行われるよう努めている。

県警察としては、今後とも教育機関などと連携し、子どもを犯罪から守るために活動に全力で取り組んでいく。

引き続き、子どもたちが安心して過ごせる環境づくりに取り組んでまいります！



一般質問 12月10日

2022年4月1日から

早良警察署が新たな体制になります

これまで、早良警察署は福岡市内で唯一2区(早良区・城南区)を管轄していましたが、4月1日に新たに城南警察署が七隈に分割・開庁されます。

これにより、早良警察署は、早良区のみを管轄することになり、より早良区の皆さん安心安全を守る体制となります。

